

海外安全対策情報（２０２１年７月～９月）

１ 社会・治安情勢

ウガンダでは、携帯電話の窃盗や夜間の住居侵入、強盗などが頻繁に発生しています。日中においても在留邦人が強盗にあい受傷した事件も発生していますので、徒歩やバイクなど攻撃を受けやすい移動手段の利用は極力さけてください。また、賊が住居へ侵入した際、被害者が犯人と鉢合わせになり受傷する事件が発生しています。就寝前には必ず戸締の確認と寝室の施錠を励行してください。

新型コロナウイルスの国内での感染状況は、６月中旬をピークに新規感染者が急増しましたが、９月末の時点で新規感染者数は約１００名、陽性率３パーセント程度に減少し落ち着いています。しかし、引き続き夜間外出禁止令などの感染防止対策が実施されていますので感染予防に努めてください。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪

（１）邦人被害事案

ア カンパラ市

（ア）７月１３日午後１３時頃、コロロ地区でメディパル病院前の道路を歩いていたところ、複数名の賊に背後から襲われ受傷し、財布などの所持品を奪われました。

（イ）９月２１日午前５時頃、マキンディ地区で台所勝手口から侵入した二人組の賊にナイフで脅され、現金やネックレスなどが奪われました。

（２）その他の注意すべき事案

ア カラモジャ地区

継続して牛泥棒と治安当局等との銃撃戦で死者が発生しています。

イ カンパラ市

ムエンガ地区などで、バイクや徒歩で移動中の外国人が金品目的で襲われ受傷する事件が発生しています。

昼夜を問わず、複数名で構成される賊がバイクを使用し、路上で金品を強奪する事件が増えています。

ウ グレートマサカ地区

８月下旬、深夜にハンマーやナタなどで武装した賊が住居に侵入し、住人を殺害する事件が連続で発生しました。

エ ウガンダ全域

公共の場でマスクを着用しない場合、夜間外出禁止令に従わない場合は、警察に逮捕されます。

3 テロ・爆弾事件発生状況

ウガンダに関して、テロ・爆弾事件は2010年7月以降発生していません。しかし、2021年8月27日にウガンダ北部 PADER 県において警察高官の葬儀において自爆テロを計画したとして容疑者が逮捕され、自爆ベストや爆弾などが押収されました。

予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や詐欺事件などが発生していますので取引の際は慎重な審査、調査を行ってください。事務所、自宅への侵入事件が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、セキュリティがしっかりした物件を選び、入居後も侵入が容易な場所はないか定期的にチェックし警備レベルの維持向上に努めてください。

以上